

**日本馬事協会 常務理事 安武 正秀**

定刻となりましたので、ただいまからアニマルウェルフェア飼養管理確立推進事業に係る専門委員会を開催いたします。

私は、馬事協会常務の安武ですが、進行を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

今回の委員会は公開となっておりますが、先日までホームページで傍聴希望の募集をさせていただいたところ、今回は申し込みがなかったことを報告させていただきます。

委員を名簿に基づきまして紹介させていただきます。

(委員及び事務局員の紹介)

それでは、専門委員会の開催に先立ちまして、会長赤保谷より挨拶をお願いしたいと思います。

**社団法人 日本馬事協会 会長 赤保谷 明正**

ご出席の皆様方には、大変お世話になっております。委員会の開催に先立ちまして、委員のご協力のお断いを承諾して頂き、ありがとうございます。

残暑厳しい中、遠いところからお越しいただきましてありがとうございます。

このアニマルウェルフェア飼養管理確立推進事業という事業ですが、概要は、後ほど説明させていただきます。家畜のアニマルウェルフェアは、家畜が快適に過ごすことのできる環境をどう確保するかという問題です。先日、この事業の推進委員会が行われまして、始まる前にその資料に目を通して見ると、今やアニマルウェルフェアは世界的なものなのかと驚きました。畜産業と家畜の快適性の折り合いをどこで付けるかだと思います。

家畜が快適に生活できれば、生産コストが下がるともいわれています。

科学的な知見から検討して頂きまして、飼養管理の指針を策定し、それを普及させることがこの事業の目的でございます。

先ほども申しましたが、この事業の親委員会（事業推進委員会）が七月の末に行われまして、科学的知見専門委員会も8月17日に行われました。この二つの委員会に今日もおられる近藤先生に参加して頂いております。3つの委員会に来ておられますので、近藤先生には調整役、繋ぎ役をお願いしたいと思います。

後ほど説明があると思いますが、馬以外の畜種は畜産技術協会が平成19年度から取り組んでいます。鶏と豚は飼養管理の指針が策定されております。

この事業に関しましては、全国競馬・畜産振興会の助成により、三カ年で行われます。この事業が成功しますよう期待しまして、挨拶に代えさせていただきます。

**社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀**

ありがとうございます。続きまして来賓でお越しの農林水産省生産局畜産振興課の菅谷課長補佐にご挨拶を頂きたいと思っております。

**農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平**

委員の先生方、お忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。

指針の作成については、2年間という期間ですがどうか宜しくお断い致します。

海外では、国、地域によってやり方は違いますが、様々な形でアニマルウェルフェアに取り組まれています。日本では畜産技術協会が、平成19年度から、採卵鶏、豚、乳用牛、ブロイラー、肉用牛の飼養管理指針の作成に取り組んでいるところでございます。

そのような中で、馬についても、当然のことながら重要な畜種であるということから、今回、全国競馬・

畜産振興会により、助成を行って頂き、指針作成を行っていただけることとなりました。

指針については、飼養管理を農家の方が行う時に、どういった事に留意すれば家畜がより快適に過ごせるかを専門家の方にご意見頂き、農家の方がわかり易く取り組めるようなものを作っていただきたいと思いますので、非常に大変かと思いますが、宜しくお願いします。

**社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀**

ありがとうございました。会議に入る前に資料確認を行いたいと思います。

(資料確認)

アニマルウェルフェア飼養管理確立推進事業に係る専門委員会を進めるにあたりまして、座長を選出させて頂きたいと思います。

本来ですと、委員の方々から互選により選出すべきではありますが、事務局のほうからお願いさせて頂いてよろしいでしょうか。

それでは、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター近藤教授にお願いしたいと思います。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

ご指名頂きましたので座長を務めさせて頂きたいと思います。

この事業は今年度から実施しており、事業の概要と進め方を事務局から説明させて頂きたいと思います。

**社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔**

(事業概要について説明)

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

ありがとうございます。ただいまの説明に対して、ご質問を頂きたいと思います。

各委員会の役割なども、この表でわかると思います。

23年度はまた別に委員会を立てるんですよね。

**社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔**

はい。23年度の委員会につきましては、再構成致します。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

ほかにありませんか。なければ私からアニマルウェルフェアについて説明させて頂きたいと思います。

一つ目は、6頁以降に快適性に配慮した家畜の飼養管理に関する勉強会報告書にだいたい書いてあります。後でお読み下さい。

最初にアニマルウェルフェアの意味を説明したいと思います。ウェルフェアとはどういうものかと言いますと、つい最近までは家畜福祉という風に訳していました。我が国で福祉と言いますと、社会福祉であり元々は仏教用語から来ているみたいです。このように訳すと本質とそぐわない部分があるのではないかと、また福祉と言うと解りにくくなってしまうのではないかとということで、現在は横文字をそのまま使用しています。

どの辺がそぐわないかと言いますと、アニマルウェルフェアの中で殺すことは問題ではありません。殺し方が問題です。我々は食物連鎖の中にいますが、その中で、何かの動物の生命を取り込んでいくことは普通の事です。復唱しますが、殺すことは問題ではありません。問題は殺し方で、苦痛を与えずにきれいに殺す事ができればということをご理解ください。

と言いますのは、動物愛護はどちらかと言えば人間の視点から見ているものです。それに対して、アニマルウェルフェアは家畜の視点から見たものです。ただその時に、アニマルライフという考え方もありまして、

殺してはいけないというものです。殺してはいけなくなると我々の畜産はやっていけなくなります。飼うことが問題ではなく、飼い方が問題です。

アニマルウェルフェアの話題が出てきた時に、3つの原則がありました。1つ目としては、動物は苦痛を感じる、2つ目は我々が不要な苦痛を与えているのではないかです。例えば、去勢が必要か、牛のしっぽを切るのは必要かです。更に現在では、5つのフリーダム（5つの自由）を守ることがアニマルウェルフェアを守るとされています。

この5つの自由とは、飢えや渇きからフリーダムである事、きちんとした環境で飼うという事、衛生管理をきちんとするという事、痛みや苦痛を無駄に与えないと言う事、本来持っている行動を発現させてあげる事で、これが一番難しいと言われており、家畜に本来の姿はあるのかという議論もされています。

そういった問題を、さっきの5つの自由から馬に関して議論していこうとするのがこの委員会です。

何度も言いますが、我々の国で福祉に関して議論すると、命に対するものになってしまいます。できれば放してやるというものが日本の考え方ですが、我々は食物連鎖の中にいるので、命に対する尊厳を持って食べるという事が大事ということを知って頂きたいと思います。

また EU がこの何年かでリーダーシップをとって進めてきました。この飼い方をしてコストが上がっても消費者が納得しているので経済は成り立ちました。表向きはいい事を世界的に広めてきましたが、EU の経済圏としては、他国からフリートレードで物が入ってきている訳です。アニマルウェルフェアに係っていない畜産物が、オーストラリアなどから入ってきているので、EU は負けてしまいます。経済戦争という面もあって、EU は世界中に同じ規則で行って欲しいという願があります。

まだ強制力や罰則はありませんが、私の意見ですが、わが国できちんと取り組んでいかなければ、他国がグローバル化の名の下に入って来ると思います。我が国の生産者の方は誰も家畜をいじめたりはしていないと思います。

しかし、他国の物が入ってきてしまうと、だめと言われてしまうかもしれないので、わが国としては、委員会をきちんと開ききちんとした方向で取り組んでいきたいと思います。

以上です。

#### 上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

以前、家畜保健衛生所から聞いたが、家畜の管理基準が国から出ていたかと思いますが、今回の指針と法による管理基準の整合性はどうか考えているのか。

#### 農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

35 頁をご覧ください。

一般原則の中に関係法令遵守の記述がありますが、家畜伝染病予防法に基づく家畜衛生管理基準を遵守することは、アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理を行う上での前提となるものです。これは、病気にさせない為の飼養管理の基準ですが、本指針は、家畜側の視点に立って快適性に配慮するものです。規制ではなく、こういった飼い方が良いのだということを推進・普及するものです。

#### 環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室 室長補佐 今川 正紀

後ほど説明致しますが、動物愛護管理法は、産業動物の飼養及び保管に関する基準であります。大雑把にしか書いておりません。アニマルウェルフェアがどうあるべきか、まだ決まっていません。この事業を含め、豚や採卵鶏などをまとめ、実行可能かを検証した上で、この基準も改正していく可能性があるということです。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

それでは、次の議題に進みたいと思います。

この事業は、7月28日に推進委員会を実施しており、他畜種と馬は大幅に異なり、馬は競馬も含めた中で様々の利活用がされております。

そこで、推進委員会において本事業における馬のアニマルウェルフェアに対応した飼養管理の指針について、一定の範囲を設けて行うこととしておりますので、説明をお願いいたします。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

馬というのは、先ほど説明がありましたように色々な用途があります。

その馬の中のどの範囲かということが、大きな問題となりますが、これについては、畜産業としての生産農家を対象とした、飼養管理の指針ということに限定したいと考えております。

ですから、馬が生まれて市場に上場するまでの飼養管理ということに限定したいと思っております。サービス業としての競馬や乗馬での馬の扱い方、屠畜や輸送等については範囲外であることを確認させていただきたいと思います。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

肥育関係はどうなっているのか。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

肥育も入ります。

北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉

農用馬は死語だと思います。また、北海道ではばんえい競馬が行われており、ばんえい競走馬なるのは一部で、ほとんどが九州に肉用馬として運ばれています。

今回のアニマルウェルフェアの飼養管理指針も、肉用馬に関するものを作るという事ですか。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

ばんえいでも肉用でも、生まれて農家が飼養する期間の飼養管理です

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

繁殖馬も入るという事ですか。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

入ります。

北海道大学北方生物圏フィールドセンター 教授 近藤 誠司

競馬を引退して、熊本等に行くと、肥育馬になった場合は適用されるということですね。

北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉

あくまでも生産環境と肥育環境ということによろしいですか。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

はい。

社団法人 日本装蹄師会 装蹄研究課長 森 達也

今日は軽種馬協会さんもいらしていますが、軽種馬の生産などは入らないということですよ。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

馬は全て軽種馬を含めて対象としています。軽種馬は調教に入ると対象外となります

社団法人 日本装蹄師会 装蹄研究課長 森 達也

わかりました。最近、日本で乗用馬を生産する事が話題になっていますが、乗用馬も生産段階について入れるということでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

はい

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

馬種を問わず用途を問わず、農林水産省の管轄下にある農家については広く扱うということですね。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

はい

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

この問題については、推進委員会でも議論になりました。ただの馬好きが繁殖させた場合など、「農家以外の場所のウェルフェアが大事だ」など議論されましたが、例えば競馬であれば JRA が進めていますし、乗馬に関しては FEI が基準を設けて厳しく行っています。日馬連もそれを守っており、国体にも適応しているとのことでした。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

軽種馬協会の場合は、農家生産法人や個人で持っている場合は会員になれないのか

社団法人 日本軽種馬協会 生産情報部 部長 伊藤 雅之

私どもの会員資格要件は間口が広く、繁殖の用に供する軽種馬または生産設備を所有または管理する生産者であれば会員になれます。農業生産法人でなければ会員になれないという要件はありません。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

育成と生産を両方やられている方もいると思いますが。

社団法人 日本軽種馬協会 生産情報部 部長 伊藤 雅之

はい。生産部門に限定して、切り分けをしている会員もいる。

セリに出すまでの馴致などのコンサイニングまで行うことが広がっている地域、会員もいます

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

必ずしも農家に限らないということですよ。

**農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平**

農業生産法人だから農家であって、農業生産法人ではないから農家ではないということでもなく、生産育成を行っている方を対象とすると整理して頂ければと思います。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

育成センターの横で場所を借りて育成を行っている業者もあると思いますが。

**社団法人 日本軽種馬協会 生産情報部 部長 伊藤 雅之**

コンサイニング・トレーニングから入って繁殖もするところもありますが、ほとんどまれです。

育成業者の人達は、自分たちで雇用して、場所は JRA さんの施設を借りて行っており、競走馬に仕上げる、また2歳のセリに向けて仕上げるということを行っております。

推進委員会で話がありましたので、1歳のセリまでという切り分けでお願いしてあります。

**独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男**

肥育農家も含むといいましたが、肥育の飼い方は他の馬と飼い方が違うと思うができますか。

**農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平**

肉用の飼い方はだめというのではなく、どういう点に留意すればもう少し快適に飼えるのかというチェックできるようなものにできればと考えています。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

肉用馬として健康に飼うという事です。

**農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平**

肉用馬の飼養形態の中での快適性に配慮した飼養管理の指針を策定していただきたいということです。

**独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男**

私が一番心配しているのは、肥育の最終段階はどのような肉がいいのか、その肉を生産するのはどのような管理を行っているのかは明確なものがないと思う。

このアニマルウェルフェアに対応した飼養管理指針は専門委員会が制定しますよね。

**農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平**

専門委員会でとりまとめて、馬事協会が指針を公表することになります。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

肉については、推進委員会でも問題になりました。大学の中で、調査、研究を行っている方もおります。その中で、合理的な方法で行っている所もあります。このようなものをスタンダードにしていけばいいのではないかと思います。

**独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男**

肥育業者は行政や組織等には入りづらいところがあると思います。その中で明確なデータが少ないという心配があります。

農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

豚のものを一回読んで頂ければわかると思いますが、いい肉を作るためにどうすればいいかではなく、肥育豚で例を出せば、どれくらいのスペースが必要か、海外では推奨されているかということを紹介しながら、チェックポイントを示しています。こういう肉を作りましょうということのために指針を作ろうとしている訳ではありません。

独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男

規制ということになるのか。

農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

繰り返しになりますが、規制を作ろうとするものではありません。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

豚の指針を読んでもらえればわかりやすいと思いますが、他にはいかがでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

枝肉の品質との関連性はない。

枝肉の品質とか増体とかの肥育成績までいれるとおかしくなるから踏み込まない方がいいかもしれない。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

豚なども踏み込んでいません。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

それでは次に進みたいと思います。

他畜種における飼養管理指針について事務局から説明して頂きたいと思います

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

資料説明

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

今の説明に関して何か質問はありますでしょうか。

馬も採卵鶏の目次に沿ったようなものになるということだと思う。

馬独自のものはあるのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 主査 山下 大輔

馬独自のものでは、去勢や蹄の管理、軽種ではないが、乗馬ではいつの時期に去勢するが望ましいかなどです。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

他にはありませんか。

なければ次に進みたいと思います。

動物愛護管理法について、環境省動物愛護管理室今川室長補佐よりご説明いただきたいと思います。

環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室 室長補佐 今川 正紀

資料に基づき説明

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

今の説明に関してなにか質問はありますでしょうか。

北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉

基本的な事です、今回策定しようとしているアニマルウェルフェアに関する管理指針は、将来的に動物愛護管理法とリンクしていくと考えてよろしいでしょうか。

環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室 室長補佐 今川 正紀

直接これの為に行っている訳ではありませんが、国内で、愛護団体を中心に5つの自由を法律の中で、あるいは法律の基づいた基準の中で、取り込んでほしいという意見があります。

愛護団体だけでなく、議員の先生も国内での実行の可能性を含めて考えられています。

すぐに5つの自由、特に5つ目の正常な行動をする自由は盛り込んでもできないので、状況を見つづとなりますが、将来的には基準に盛り込んでいくということが、世界的にも求められるのではないかと思います。

北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉

将来的には罰則も含まれた中で、行われると理解してよろしいでしょうか。

環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室 室長補佐 今川 正紀

罰則まではかからないと思います。動物が快適に過ごせるように。

あくまで、つとめることまでの規定になると思います。

北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉

去勢に関することだとかが盛り込まれてくると思いますが、これは動物愛護管理法とリンクして罰則規定が盛り込まれるくらい重いものになるのでしょうか。

環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室 室長補佐 今川 正紀

ここで策定する飼養管理指針は、そっくりそのまま細かいところまで動物愛護管理法に基づく管理基準に入れることはないと思います。

改正時に入れ込むことができれば入れたいという動きが、国内の動物愛護団体や議員さんから出てきます。その時に具体的な数値は入るかもしれない。

決めて頂いたことがどこまで入るか分かりませんが、それも含めて議論されるのではないかと思います。

日本馬事協会 会長 赤保谷 明 正

なぜ議員立法なのでしょうか。

環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室 室長補佐 今川 正紀

動物愛護管理法は、基本的には犬の飼い主がちゃんと飼っているのかという基準であり、ここに厳しさを求める団体は本当に一部です。その中でさらに関心がある方は一割であり、あとの方は興味がないという方です。一部の方を対象にしたものなので、改定提案の法改正は難しいです。動物の愛護は大事であるという国民の代弁者である議員の先生が、盛り込むか盛り込まないかを変えていきます。一番分かりやすいのは、



動物を飼った方に税金をかけるという案が出ていますが、ただそれは議員の方もすぐにはできるとは思っていないので、また導入も政府の方から行います。動物を飼っている人は限られていますし、消費税のように国民全員に係るものであり、導入に当たっては、国民的同意が必要なので、厳しくするには非常に難しいものがあると思います。

**日本馬事協会 会長 赤保谷 明正**

後ろから後押しして作らせたのですか。

**環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室 室長補佐 今川 正紀**

そういうわけではありませんが、本当に必要な場合はご相談させて頂いています。

先生のいらっしゃる地域で声を上げている方は実際少ないので、その方の意見を聞くというわけではなく、全体の動きを見ながら推進していくものです。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

ほかに何かありますか。

**独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男**

今は動物愛護管理法に基づいて指針が作られていますが、これは達成するために指導するということではないのか

**環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室 室長補佐 今川 正紀**

今回の飼養基準は動物愛護管理法に基づいて作られるものではありません。

**独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男**

技術協会が作った豚の指針は、これはどのような扱いになるのか。

**農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平**

35 頁を見て頂くと、活用の仕方が 4 に書いてありますが、畜産技術協会に指針を作っていただき、これを基に、生産者団体にガイドラインを作っていただく事を期待して、出来るだけ広く指針（考え方）を広めていっていただける方向にできればと思っています。その結果、生産性向上に繋がっていくことを期待しています。

また、行政機関にも普及啓発を行っていただいて、全体的なレベルアップに繋がればと思っています。

**独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男**

諸外国の事が書いてある大きな表がありますが、各国の農務省が作ったのですか。

**農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平**

国により違うのですが、ヨーロッパは規制、アメリカはガイドラインです。アメリカに近い考え方です。

**独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男**

これは馬事協会が作ったものになると思いますが、これを基準に飼っている方は自主的に対応した飼養管理を行うのでしょうか。

農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

これを指針として取り組んでいただきたいと思います。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

病気にならないようにどうしたら飼えるかを考えることが重要だと思います。

独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場 業務第二課長 岡 明男

中間目標で3年後は理解度が80%とあります。また28年には80%が実行とありますが、本当にできるのかという心配があります。

農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

今回の指針は、誰でもその気になれば、取り組むことが出来るミニマムスタンダードを作るという観点で作成していただきたいと思います。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

諸外国におけるガイドライン等の策定状況についてと、指針に盛り込む事項についても併せて説明をして頂きたい。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

資料説明

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

次の議題のアンケートに取り掛かりたいので、きちんと決定をしたい。アンケートの内容で何かあれば、戻って質問を頂きたいと思います。

それでは、アンケートに関して説明を頂きたいと思います。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

アンケートについて説明

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ありがとうございました。

社団法人 日本馬事協会 専務理事 倉澤 景晴

62頁の面積は間違いでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

訂正したいと思います。最低はどのくらいになるでしょうか。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

3.3㎡だと思います。

1.5㎡はどこから来たのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

乳牛から持ってきています。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

アメリカの密飼いから来ていると思います。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

このアンケートはこのまま農家に送るのですか。

日本馬事協会 主査 山下 大輔

基本的には登録に回っている農協の職員の方などに依頼したいと考えている。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

数はいっぱい集まってきましたが、情報としてはあまり信用性のないものになるかもしれません。特に餌に関して、ヘルメットなどで量っていることがあるため、記入が正しい加減になってしまうかもしれないケースもあるかもしれない。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

飼養スペースは明らかに小さいので修正した方がいいのでは。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

はい修正します。

日本中央競馬会 上席調査役 宮崎 栄喜

坪数は（ ）書きで記入にした方がいいのでは。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

アメリカで策定されている馬房基準は読まれましたか。

松井委員の意見である、アンケートの記入が正しい加減になってしまう問題点はいかがでしょう。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

その前に追加したい事項があるのですがいいでしょうか。

カナダのものを見ると、繁殖管理という項目があるが、今回の馬事協会の案を見ると抜けていますが、生産者の立場から見ると繁殖管理を入れて頂きたいと思います。これは馬が長く使えることにより、農家にとって有益になりうるからです。指導的な物を含めてまた、願いを込めてアンケートに入れて頂きたい。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

カナダのものは確かにありますが、日本のものには入っていませんね。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

気をつければ事故なども減ると思うので予防的な観点から入れて頂きたい。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

繁殖管理の細かいものはピンクの冊子の 38 頁に細かく入っていると思います。

(冊子の説明)

松井先生の話にありましたが、はしおって聞いているところがあるので、もう少し細かく聞いた方がいいのかなと思うのですが、さらにボリュームが増えますので、その点も気になります。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

縦長になるので場所を取るのだと思います。横長の表にすればコンパクトになると思う。

なるべく数字を書かせないで数字をあらかじめ記入しておいて丸をするようにすればいいと思うが。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

ほかにありますでしょうか。

事務局はこれでいいでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

はい。

社団法人 日本装蹄師会 装蹄研究課長 森 達也

敷料についてですが、どの位で替えているかの交換時期を入れたらどうか。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

丸はいくつでもいいですね。

社団法人 日本馬事協会 主査 山下 大輔

はい。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

アンケートはいつから行う予定ですか。

社団法人 日本馬事協会 主査 山下 大輔

今回決まれば、明日明後日と思ったのですが、意見が出てきたので委員の先生方と連絡取りながらになると思います。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

アンケートの結果の反映のされ方ですが、たとえば扇風機が 100 件中 50 件あった場合はどうなるのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 主査 山下 大輔

あくまでも参考資料です。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

100 件扇風機があった場合、アニマルウェルフェアの項目に引っ掛からないというものなのでしょうか。

**社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔**

先生方の決める為の判断材料の一つです。科学的知見のメリット、デメリットを整理するというのも一つの判断材料だと思います。

たとえば扇風機が150件中150件設置してあるからといって、設置しなければならないということはあまり考えていません。

**北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉**

アンケート先の選び方ですが、当然馬の飼養頭数は北海道が一番多いと思いますが、軽種に限らず農用馬、乗用馬に関しても、地域性が大きいと思います。飼養形態の地域配分において、比率で分けて取るのでしょうか。

**社団法人 日本馬事協会 主査 山下 大輔**

全国の馬の飼養頭数からどちらの割合が多いかを調べて行いたいと考えています。軽種馬についても日高以外にも生産地域はあるので、そういう所からも調査を実施したいと考えています。これは生産頭数の割合でお願いしますと伝えてあります。地域差は必ずあると思いますので、熊本と北海道の飼い方は違うと思います。

先ほど菅谷班長も言われていましたが、あくまでミニマムスタンダードな形での飼養管理指針を策定したいと事務局でも考えています。

例えば、暑い場所での飼養管理の指針、寒い場所での飼養管理指針等、場所によって作ると、膨大な量になると思いますので、あくまでも飼養管理のスタンダードなので、在来馬、乗馬、軽種や農用馬に関しても調査をかけます。

**北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉**

偏らない全国からアンケートを取った方がいいと思います。

**上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇**

給餌ですが、北海道ではダボ飼いと称して餌を水でふやかして与えていますが、全部混ぜる方法もあるので、そのようなものも調査するのか。

**日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗**

アバウトな基準しかないし、表現のしようがない。

アンケートを記入する方も、この位ということもあり得ますから。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

逆に一月分の餌を買っているのだから、そこから計算すれば出ると思います。

**北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉**

一日何回が何キログラムであるかを、ふすま、燕麦、など細かく答えられないと思います。実際は調整して、ヘルメット一杯は何グラムであるとか分からないと思います。そういう場合どうすればいいのでしょうか。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

二つに分ければいかがでしょうか。一方は一日の量、もう一方は月の購入量から割るものです。一月の量と飼養頭数を書いてもらえばいいのかと思います。

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗

少ない件数を調査員が聞き取りで行うか、農家の方にそれぞれ記入してもらうかのどちらかしかない

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

先ほども話しましたが、1農協に対して10戸~15戸を考えています。そうすると聞きながら記入できないでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

登録の後にさっとやれる標準的な場所を選ぶつもり。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

そうするとさっき言われたように一回が何キロよりも、購入量を飼養頭数で割る方がいいでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

馬の健康状態から言うと、回数が多い場合があるので、小分けにした方が管理が行きとどくかもしれない。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

回数は聞くようにしてください。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

一日何回、一回に付き何キロという形で聞いております。

社団法人 日本軽種馬協会 生産情報部 部長 伊藤 雅之

軽種に関しては、先ほど松井委員から話がありましたが、投げっぱなしにすると回収できないと思いますので、聞き取り方式で行いたいと思います。

地域に関しては日高、胆振、支部の東北、九州で手分けして行いたいと思います。

ですので、給餌についても、一日の量を聞くつもりで作っております。

何のために聞くのかを聞かれ場合どう分かりやすく答えたらいいのかを65頁に書いてありますが、これでいいかを近藤先生にお伺いしたい。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

馬事協会のものは入っていないので、入れた方が良ければ入れようと思うのですが、いかがでしょうか。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

今の二つの質問はいかがでしょうか。

農林水産省 生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平

このアンケートのみを見ても分からないと思うので、このままでいいのかなと思います。

社団法人 日本軽種馬協会 生産情報部 部長 伊藤 雅之

飢えと渇きが聞かれていますので、給餌と給水のことを聞かれているということが分かります。  
ペットについての動物愛護とは異なると思います。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

人によってどう違うか解らないので、きりが無いと思います。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

もう少し噛み砕いて農家の方に分かりやすくした方がいいのではないかと。  
例えば、飢えと渇きなどは飼料と水をちゃんと与えているかどうか。病気に対する管理はされているのか、また苦痛などの具体的な事を書かなければと思います。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

私がレクチャーを行う場合は、一番上が栄養管理されているかを書いて、疾病管理、衛生管理をやっているか、殴ったりしていじめていないか、厩舎の環境がいいかどうかを書いていきます。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

今、近藤先生が言われたことを（ ）を追加して分かりやすく書いていただければと思います。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

軽種以外はどうか

北海道農業共済組合連合会 企画研修課 技術総括 三木 渉

最低限アンケートをとる目的と、利用基準を書かないとアンケートはとれないと思います。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

アンケートの収集方法を決めているのでしょうか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

先ほどもお話したように、農協連さん、生産連さんをお願いして回収したいと考えています。  
登録団体なので、登録を農協連さんや生産連さんに委託しているということもありますので、それに合わせて行うことができると考えます。  
併せて見てもらえれば正確で、回収率も上がるのかなと思います。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

餌の関係ですが、肥育の関係はマル秘事項が多いと思いますので、きいて答える事が出来るものにしておかないと、いけないと思う。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

この質問の目的は、全体の餌の中に濃厚飼料がどれだけ入っているかですよね

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

用途などをきちんと書けば、いいと思う。

**日本中央競馬会 競走馬総合研究所 研究役 松井 朗**

どこかの国では小麦を与えてはいけないとかありますが、日本では濃厚飼料はどの位でしょうという話になると思うので、余り細かく聞かなくてもいいのかなと思います。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

逆に分けて給餌しているものを、トータルでカウントするのか。

もう一つはどこまでを聞くのかの基準は重要で、それによりアンケートが変わってくるし、聞きに行く人も理解が必要です。

精度がかわってくる。

**上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇**

餌の関係では、繁殖では濃厚飼料の割合がどれぐらいでというのを指針に盛り込めればと思います。

適正な給餌方法がおり込まれていなければ、いい意味でアニマルウェルフェアに進まないと思います。

もう少し大きくとらえた方がいいと思います。

**全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五**

そのほうがいいと思います。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

やり方を、聞き取り方式に徹底して、草と穀類を分けて割合を聞く、繁殖に関する質問事項を加える、横書きで○を打ち数字はできるだけ書かせない、ということよろしいでしょうか。

**上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇**

聞きとる方も大変です。

縦から横にして枚数をへらさないと、もっていくのに大変です。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

相手をうんざりさせる訳にはいかないのではないかな。

このことについて、事務局で再度作り方を検討してほしい。

**日本馬事協会 常務理事 安武 正秀**

さっきの私の質問はどうでしょうか。

**北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司**

初めの説明はつけたほうがいい

**社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀**

分かりました。

**全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五**

海外情報というのは、これ以外に調査を行っていますか。

**社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔**

今、アメリカを調べてます



全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

ヨーロッパは身近な感じがします。重種はフランス中心だと思いますが、こういう所はターゲットに入っていますか。

社団法人 日本馬事協会 業務部主査 山下 大輔

調べて頂いたが、現在ではガイドラインをみつけられない。

全農畜産サービス株式会社 常務取締役 中塚 眞五

確認したほうがいいかもしれません。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

まとめは、枚数を減らす、ウェルフェアのアンケートの初めに目的をつける、繁殖に関するものを盛り込み、飼料については、聞き方を工夫する、ということでしょうか。

社団法人 日本軽種馬協会 生産情報部 部長 伊藤 雅之

繁殖に関しては、軽種もということでしょうか。

上川生産農業協同組合連合会 畜産部長 鈴木 昇

もちろんです。

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 近藤 誠司

なければこれで終わりたいと思います。何かあればメールなどで連絡頂ければと思います。

それでは議事を終わります。

社団法人 日本馬事協会 常務理事 安武 正秀

ありがとうございました。